

日本の少子高齢化は、過去の予測を超えるスピードで進行しており、有田川町も例外ではなく、いわゆる限界集落の数も増え、人口も減少の一途をたどっております。また、雇用環境の変化、家族形態の変容なども相まって、社会的孤立などをはじめとする福祉課題・生活課題も多様化・複雑化しております。

このような状況を受け本会では、基本理念の「みんなが支えあい住み慣れた地域社会で安心して暮らせる福祉のまちづくり」、また地域福祉活動計画に沿った事業を展開し、地域共生社会の実現に向け取り組んでまいりました。

今後有田川町社会福祉協議会は、役員・職員一丸となって地域福祉の推進に取り組んでまいります。

本会に物心両面にわたり温かいご支援・ご協力を賜った会員・各団体・施設をはじめ、多くの皆さまに感謝申し上げます。

【基本目標 1】安心・安全な仕組みづくり

- きめ細かな情報の発信・共有
- 福祉サービスの相談窓口の充実
- 社会福祉に関わる従事者の資質向上と人材確保
- 苦情を受け止める体制の整備
- 福祉サービスの適切な提供
- 災害時などの対応
- 地域における子育て、高齢者、障害のある人の見守り支援
- 権利擁護に関する普及啓発、成年後見制度の普及啓発

【総合相談事業】

心配ごと相談、法律相談及び公証人相談を実施しています。多種多様なニーズに柔軟に対応できるよう、職員間での情報共有や関係機関との連携強化に取り組んでいます。

年間開設実績回数

【心配ごと：52回 法律：12回 公証人：2回】

【介護保険事業】 【障害福祉サービス事業】

高齢者や障害者に対し、訪問介護・通所介護・訪問入浴等を実施しています。サービスの改善、ケアの質等の向上を目指し、連携を図りながら日々取り組んでいます。

【福祉サービス権利擁護事業・法人後見事業】

家族・親族・関係機関の支援が得られず、判断能力が不十分な方の金銭管理等を行っています。

【年度未契約者数：28名】

また、家庭裁判所より選任を受け、法人後見事業として援助を行っています。

【年度未受任者数：13名】

【基本目標 2】支えあいのまちづくり

- 福祉の大切さを学ぶ、地域福祉の担い手の育成
- 団塊世代の社会参加
- 地域ボランティア、NPO団体の育成・支援・連携
- 協働による福祉のまちづくり



【福祉講座事業】

福祉教育として、地域の小・中学校へ出向き「車いす体験」「高齢者疑似体験」等を実施しています。福祉の大切さを育み、地域福祉の担い手を育成するため、地域を巻き込んだ福祉教育に取り組んでいます。

【学校訪問：16回 交流学習：20回 介護等体験受入：2名】

【クリーン有田川運動】

30年以上続く清掃活動であり、ボランティア連絡協議会吉備支部と幅広い世代の住民が協働で実施しました。



【約560名参加 1.6トン以上回収】

【基本目標 3】自立を支える環境づくり

- 健康・介護予防とボランティア活動の推進
- 生きがいづくり推進
- 移動手段の確保（外出支援サービスの推進）
- 誰もが参加できる仕組みづくり

【福祉用具等リサイクル事業】

家庭で使われなくなった介護・育児用品を、必要とする方へ本会が橋渡しを行っています。

住民相互の支え合いを育むきっかけとなるよう、普及・啓発に取り組んでいます。

【受け渡し完了 22件】

【ひとり暮らし高齢者遠足・食事会】

【買物支援サービス】

ひとり暮らしの高齢者の方に、生きがいを持って生活を送っていただくために、日帰り遠足や食事会を実施しています。また、一部山間地域にお住いの高齢世帯を対象に、買物支援付サロンを開催しています。

参加者数

【日帰り遠足：104名 食事会：192名】

【買物支援付サロン：のべ238名】

【基本目標 4】ふれあいの場所づくり

- サロン活動の充実

【ふれあい・いきいきサロン等活動の推進事業】

各地域で、ボランティアによるサロン活動が展開されており、その継続支援や、新規立ち上げ支援を行っています。

住民が自主運営できるよう支援を行い、住民の声を聴きながら対応しています。

【サロン活動費助成：35サロン】





